

最重要：“ SDGsビジネス ” の土台

このままでは「**続かない世界**」を
「**続けられるような世界**」

に 変える 全世界共通のお約束 (2015年)
(* 変革・変容=トランスフォーメーション)

©新価値創造研究所



「SDGs」ってなに？ @学校・企業・自治体

“人類の未来を変えるため”に掲げられた**世界共通の目標**です。

貧困や不平等や環境破壊……

深刻化するさまざまな社会問題を解決しなければ、

「地球に未来はない」と世界中の国々が危機感をもっています。

そこで2015年9月、国連は、

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な発展目標)

「誰一人取り残さない」という理想を掲げ、

17の目標を2030年までに達成しようとしています。


学校や企業や団体、私たち一人ひとりがSDGsに関心を持って挑戦することで
人類の未来が変わるのです。





2030年、宇宙に浮かぶ灼熱の星？

なぜ、この世界にSDGsが必要なのか？

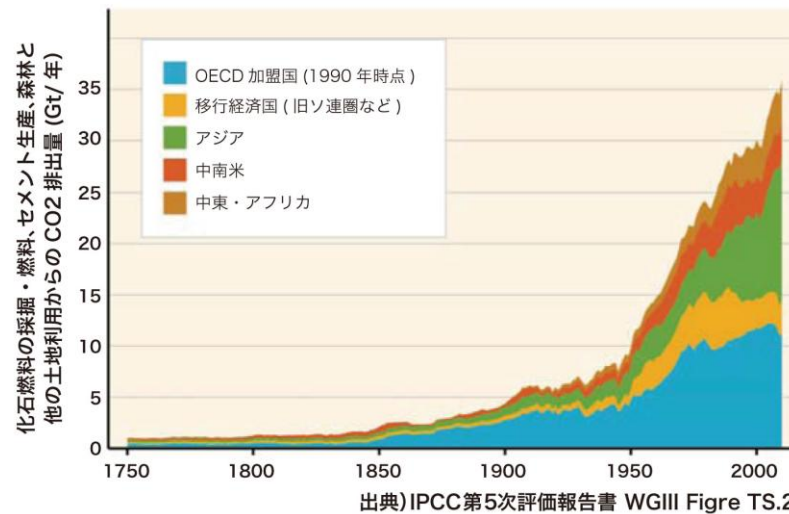


世界フォーラムの調査によれば、
2050年までに 海洋プラスチックゴミの総量は、
地球上のすべての魚の重量を上回るとされている。

SX/GX



世界の CO₂排出量
(燃料、セメント、フレアおよび林業・土地利用起源)



2～3%のGDP成長率を維持しつつ、温度上昇1.5℃目標を達成するためには、
二酸化炭素排出量を今すぐにでも**年10%前後**のペースで削減する必要があります



自分(たち)の“命”にかかわる大問題です
環境問題 ⇒ “生命”の問題

SDGs経営とは？：“環境・社会・経済”の三位一体

出所：PwC

→ 親亀こけると皆(子亀・孫亀)こける



孫亀：経済(G)

子亀：社会(S) ⇒ 戦争、人権
ダメだといずれ働き手に選ばれなくなる

親亀：環境(E) ⇒ 地球沸騰
ダメだといずれ顧客に選ばれなくなる

これが、いまの、私たちの“ビジネス環境”です

SDGsイノベーション経営は、“五方よし”

近江商人の
経営哲学
“三方よし”



- 売り手よし
 - 買い手よし
 - 世間よし
- +
- 地球よし
 - 未来よし

自分(自社)が世の中に向けて、 “革新したいこと”は何か？

- ⇒ マラリアに苦しむ人々のために役立てられないか？(住友G)
- ⇒ 大気汚染のない印刷はできないか？(大川印刷)
- ⇒ 使用する電力をグリーンエネルギーにできないか？(大川印刷)
- ⇒ 循環型鉛筆産業システムにしたい(北星鉛筆)

⇒ 魂を入れる

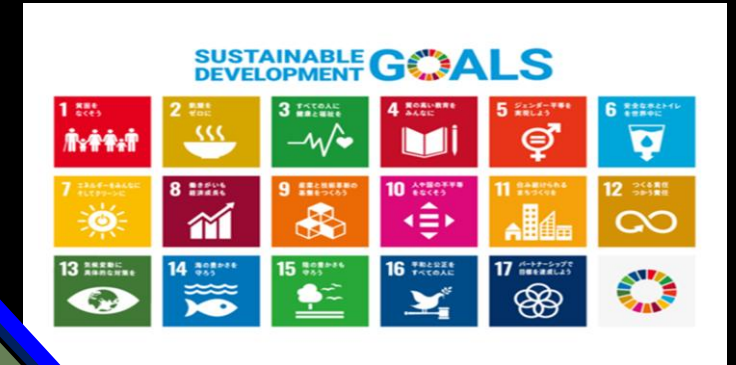
“SDGs成長経営シフト”

⇒ 1ランク上の Next経営体 へ脱皮・変身！

社会課題 17目標



価値創造
= 新結合



本業
(エコノミー)

SDGs
(エコロジー)

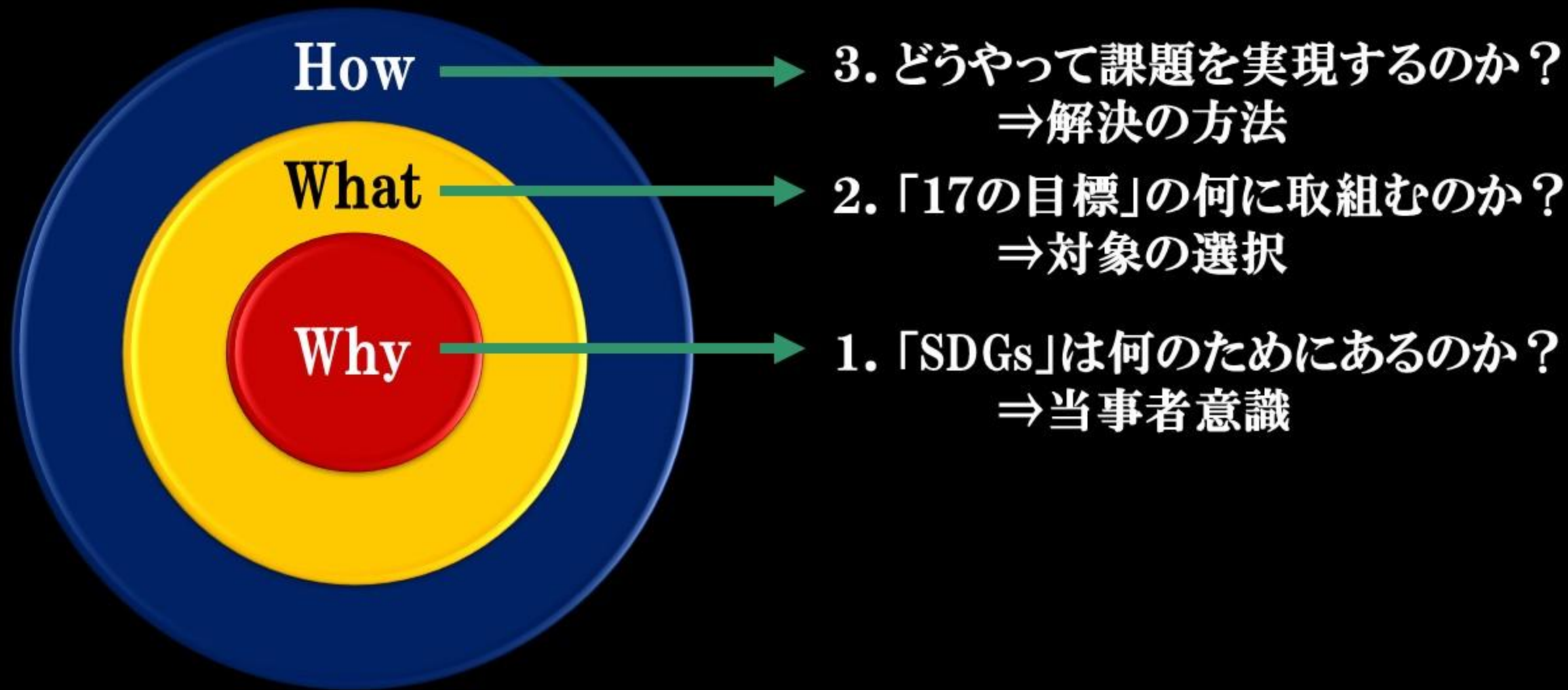
(共通項)
持続可能

経済価値(利益)

両立

社会価値(社会課題解決)

「SDGsビジネス」を自社に導入するためのステップ



⇒ 女性の「積極採用・活躍推進」

5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



資本金:1000万円
従業員数:16名
(20代8名)

(株)佐藤製作所
3代目佐藤修哉常務

廃業を考えていた ⇒ 現状を打破する“大改革”が必要だった

“鉛筆”の『存続価値』の追求

12 つくる責任
つかう責任



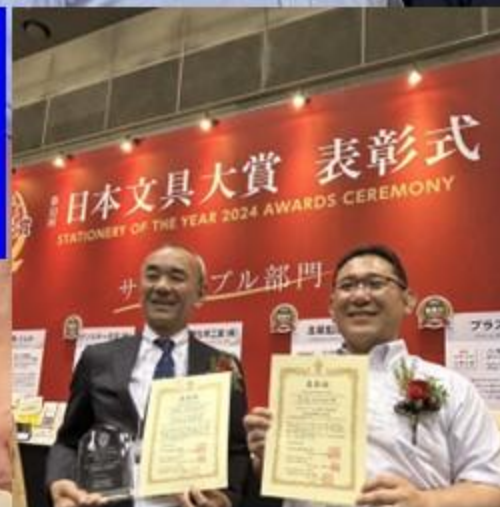
4 質の高い教育を
みんなに



資本金：6000万円
従業員数：28名



北星鉛筆(株)
杉谷龍一社長



2024年日本文具大賞
サステイナブル部門
優秀賞

北星鉛筆(株)
杉谷和俊会長

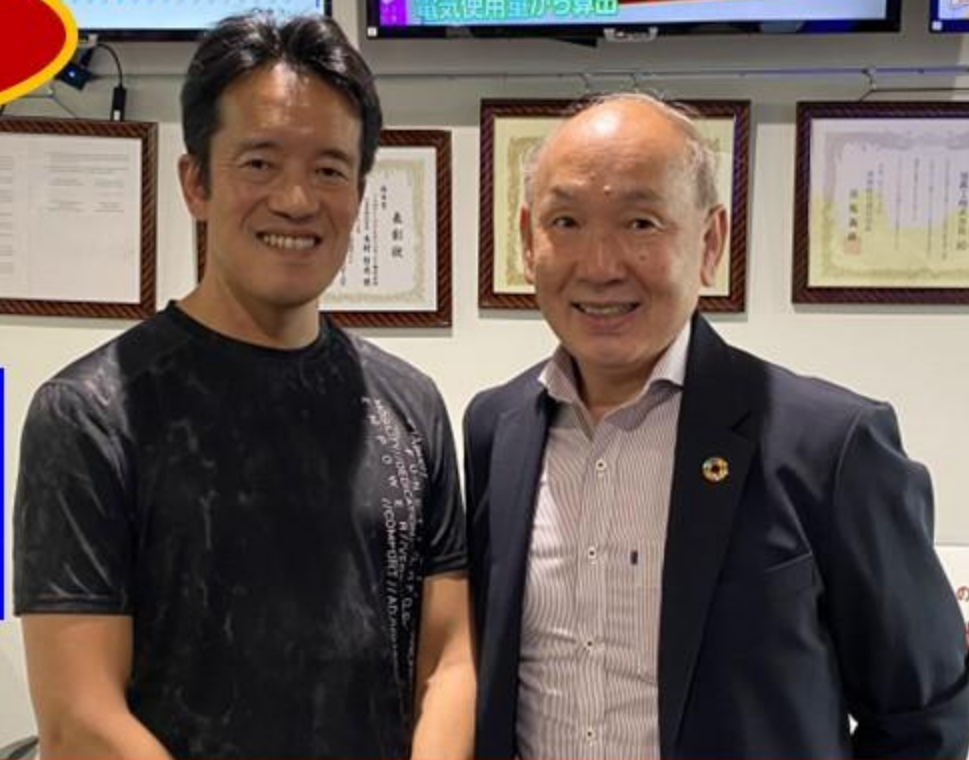
環境に配慮した“循環型鉛筆産業システム”の構築・事業化

電力・ガス消費量 (Co2排出量) の 『低価格の見える化 (IoT)』と『カイゼン (トヨタ生産方式)』

二つの課題

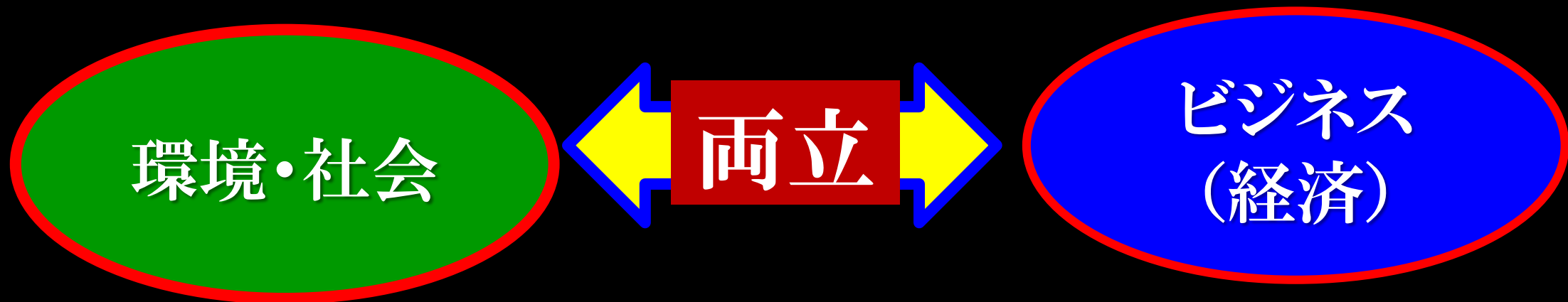
トヨタ ティア1
資本金:2700万円
従業員数:432名

旭鉄工(株)
木村哲也社長



“① EV化による経営危機”と“② Co2排出量削減”

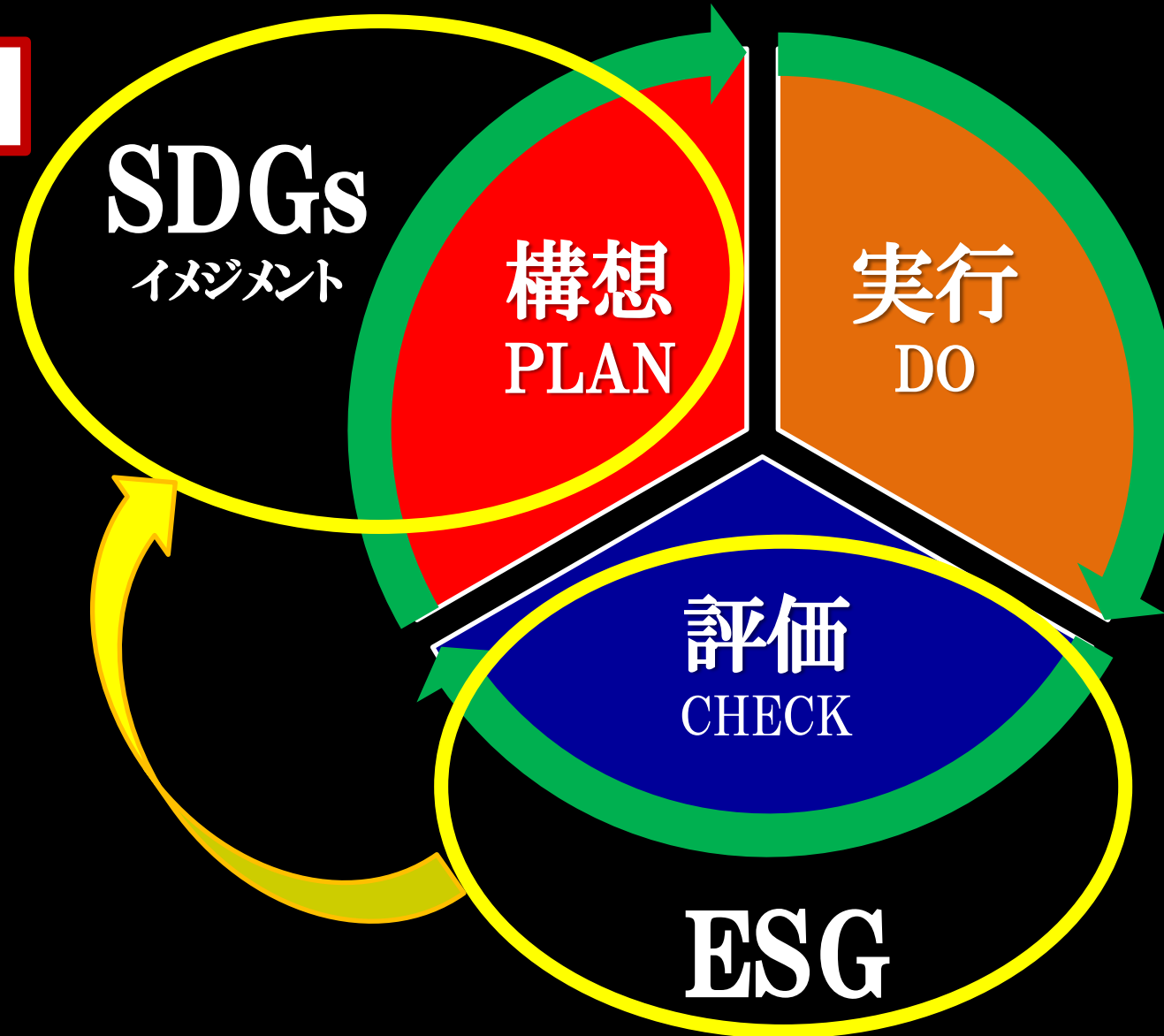
「SDGsビジネス」とは？



重要： SDGsは“構想/立案”、ESGは“評価”

何を革新するのか？

S： サステイナブル
D： デイベロップメント
Gs： 17ゴールズ



「本業」 × 「新成長ルル三条」 ⇒ 価値創造
⇒ 将来に適応した“成長経営体”に脱皮・変革！

